

# マルクス・レーニン主義

日本共産党東京大学学生細胞機関誌 細胞委員会責任編集  
第 7 号 別 冊 附 録 1957.9.17

## 平和と共産主義の勝利をめざし前進せよ

■ 当面するわれわれの任務について ■

### 日本共産党東大細胞九月総会に提出された細胞委員会の政治報告

日本共産党東大細胞九月総会は九月下旬二日にわたって開かれ、白熱的な討論の末、当面の任務を決定した。

左記に収録するのは同総会に提出された細胞委員会の報告を総会の討論に基いて若干加筆したものである。

現代世界を色どるものは、正に全世界的な規模で進められている平和を守りかたむける斗争、社会主義の勝利をめざす斗争の勝利的な前進と、更に世界平和勢力と帝国主義諸国の国際的な戦争と反動の政策との鋭い対決に他ならない。

帝国主義者の戦争と反動の政策を一つずつ打ち破り、彼らを孤立させ追いつめることによつて、社会主義

と共産主義への決定的な前進を準備する事こそ、現在において我々共産主義者に課せられた歴史的使命に他ならない。

このような観点から、帝国主義の戦争政策に対し、平和を守りかたむけるために、われわれは東大細胞は過去一年有半、全精力を上はて斗争の展開に努めてきた。

六月総会において、われわれは帝国主義者が現在遂行している核実験の強行と核兵器装備による軍備の拡張と強化、軍事、ロック政策に基く、対ソ中包囲基地網の建設強化政策こそ、彼等が世界平和勢力に加えて危険な攻撃であり、同時に日本共同声明を核として、日本独占資本の日本人民とアジア人民への新たな挑戦が開始されつつあることを指摘した。

更にわれわれは当時の状況の中で、核実験禁止をめぐる斗争は、国連軍縮小委員会において、現実の政治的解決が全く可能な段階に達しており、帝国主義者の妨害を粉碎して、核実験を一時的にもせよ中止させる協定をかちとする斗争の成功をめざして、全精力を上はて闘わねばならない事、その争の成否こそ現在世界の人民斗争の運命を決する決定的な意義をもつ事を確認した。

同時に、彼等が一方で強行しつつある核兵器侵略戦争のための、基地拡張、建設計画、特に、沖縄と砂川の基地化計画、自衛隊の核装備化と、日本への核兵器持込みに反対し、一つく

それを粉砕してゆく斗争を直ちに組織せねばならぬことを決定し、この二つの行動の目標は、共に戦争政策を進める帝国主義者に対する打撃であり、われ々の平和を守る斗争の現在における中心的任務として、統一して推進されなければならぬことを確認した。

その後のわれ々の斗争の展開と、事態の進展は、われ々に幾つかの重大な成果をもたらすと同時に、新たな斗争の重要な局面を準備する事となってきた。

2

情勢の発展の中で、われ々がますますオーストリアに確認すべき事は、平和を守る斗争の一尺巨大な前進と発展である。

オーストリア水爆禁止世界大会は全世界平和勢力が一致して核兵器による軍拡と軍事スロツクの政策に反対することを明らかにし、戦争政策の遂行には決然とした意志を表明した。

大会は、採択したその「東京宣言」「国連及び各国政府への呼びかけ」「共同行動についての勧告」において、この数年未みられなかった全世界平和勢力の平和運動の基本的方向についての完全な高度の意志の一致を打ち出した。

それは大会が「帝国主義者に対する直接の示威であったばかりでなく、世界平和運動の画期的な出発点をきりひらいたことを意味している。

中華人民日報において、中国の同志諸君が正に正しく指摘した通り、「東京宣言」は当分の平和運動の行動綱領であり、更に望む方針の一致に留らず全世界平和勢力は、正にこの共通の目標のもと、壮大な共同行動の準備を始めつゝあることをわれわれは知っている。

それは世界政治をゆり動かす、その方向を決定する上に重要な影響を及ぼすであろう、正史的意義を高く評価せねばならぬ。

世界の平和を守り、帝国主義者の戦争政策に対する世界人民の斗争は更に幾つかの重要な発展を示した。

3

特にわれわれは、ソ同盟を始めとした社会主義諸国の現代世界において果しつゝある役割を再び正確に評価せねばならぬ。

ソ同盟の大陸間弾道弾の実験成功を、われわれは世界平和勢力の勝ちとつた重大な技術的勝利として高く評価するとともに、帝国主義者との競争に決定的優位を占め出しはじめているソ同盟共産党とソ同盟科学者に心からの感謝と敬意を捧げるものである。

われわれはソ同盟のECBMの実験成功が大同間の軍拡競争を強め、平和運動を一歩無力なものにするかのようにおしやべりする商業新聞の世迷い言にだまされてはならぬ。

平和運動こそ国際スロツク・アートの国際スロツク・アートの最もしつこい階級斗争であり、ソ同盟とその軍事力こそ、世界平和を守り、帝国主義者の戦争挑発を阻止する国際スロツク・アートの決定的武器である。

オーストリアが、そして西ドイツ・フランス連年の、あの恐怖にみちたくなくさめこと、こそECBM実験成功の正史的意義を証明している。

更にこの期間、ソ同盟、中国の確固たる社会主義建設の推進と、軍縮小委に示される、国際政治に対する有効な措置は、社会主義国こそ、世界平和勢力の中心部隊であることを改めて証明した。

ソウエト、東独会談、ソ・ナエゴ会談、ソ・ユーゴ会談等でソウエトは、現実の国際政治への配慮を示すと共に、国際共産主義運動の強固な統一を回復するために努力を開始している。

中国において社会主義建設をぶちこわし、帝国主義者との斗争に水をさそうとする分子の策動は孤立し、粉砕されはじめた。われわれは国際帝国主義との階級戦の中にあつて、勝利せる世界スロツク・アートの誠意、ソ同盟、中国こそ、世界平和と共産主義を目指すわれわれの斗争の決定的な根拠地であり、ソ同盟、中国を無条件に守る事こそ、世界スロツク・アートの任務であることを改めて強調するとともに、ソ同盟、中国の同

世界人民連帯同盟大会（八月二十六日—三十一日）は、東京宣言の内容をもつアポロルを発し、世界人民連帯同盟は、核兵器の射撃に對する国際科学者会議の招集をよびかけ、核兵器の即時中止をめざす斗争に新たな圧力を加えようとしている。

イギリス労働者はマクミランの水爆実験再断声明にははしい抗議を浴せ、九月二二日トランプアルカー広場での大衆集会と元を準備している。

アメリカの戦時的平和擁護者はネウアム実験に對し、身を挺して抗議の意を表した。

ソ同盟では六〇万の人民が八月六日モスクワで集会を開き、核実験政策に抗議した。

アジア諸国でアフリカで、今年も、今までになく二二の国々で核実験中止を要求する集會が開かれた。

このような斗争は特に西欧の焦点、西ドイツの総選挙に當り核兵器装備とNATO体制への協力のアテナウアーに對して、核兵器の持込み保有反対、NATO脱退を要求する人民の声となつてあらわれてくる。

特に中東と極東において、人民の抵抗は重大な成果をかちとつた。

シリアにおいて民族解放と反植民地主義平和政策の遂行を決意する人々の权力掌握は成功した。

オーストリアの人民は、たとえ一時的には武装兵隊の前に後退したとはいへ、依然として民族独立とアラブの団結のため闘つてくる。

沖縄に於て、那覇市評会は兎事に沖縄人民の意志がアメリカ占領政策に抵抗することを示した。

砂川での基地内測量にさへ、日本人は基地内になだれこみで測量に對抗した。

世界人民の斗争は明らかに帝国主義者に重大な後退を余儀なくさせる力強い高揚の段階に向つてくる。

志諸君の奮闘を期待し、全世界の共産主義者が正しい政治方針の下、固く團結して闘うために努力しなければならぬ。

4

ソ同盟を中心とした平和勢力の活動は今回の国連軍縮小委員会でも、實質に帝国主義者を追いついて行く事ができた。特に三月末の核実験一時中止提案、四月三日、六月一日のソ同盟政府の一連の提案は、すでに核実験の即時中止の方向に統一されつゝ、ある国際世論の高まりにこたへ、帝国主義者の手続的な軍縮交渉のめざすのを察地に立止せるに足るものであつた。

核実験一時中止協定の実現は全く可能であり、その争によつてのみ、ひきのはされおくらされていく軍縮問題の討議を促進し一致した点での協定締結に向う可能性を生れることをわれわれは強く六月総会で確認した。しかし、帝国主義者はいかにおいつめられようと軍縮に実験中止に同意する事はできない。それは彼らの手から戦争政策の最も中心的な武器をとりあはせてしまふからである。

彼らは一方では極東を中心とした原子戦略体制の推進と結合して、軍縮討議をひきのほし、ぶちこわして、実験中止協定をおしつけられないよう全力を上げてきた。

イギリスが、今年十二月からのマラリンガ実験、明春のクリスマス島水爆実験を公表したことは、彼らが、一方ではあくまで核兵器増強を進める意図であることをバククロしている。

七月二日、米英仏加四国は十月の核実験中止を核分裂物質の生産中止、空中査察を始めたとして、ソウエトの実験一時中止提案に同意した。そして、一方では、悪にもつかぬスタッセン提案なるものを、たらくと端切れだけ出して、時向をかせぐ方向をとってきたのである。

この四国提案は、わか細胞七月臨時総会が正しくも指摘した通り、実験中止協定の交渉を全く暗礁にのり上げさせるもので



が、たじろぎながらますます右傾化しつゝあることを見逃してはならない。

西独総選挙は、しばらくの西欧と世界の情勢に少からぬ影響を及ぼさう。アメリカ帝国主義を始めとした西欧諸国は、この選挙をアテナウアルの政治路線——NATOの強化とその核装備化——の勝利に終らせるために努力している。(七月二十九日西独共同宣言)

ドイツ独占資本はすでに七月に議會を通過した新独禁禁止法、合理的な不況、輸出、輸入力カルテル等一つの種のカルテルを認めると共に、至清用、例外的に競争を制限する必要がある場合には競争制限行爲に許可を与えることができるという一般条項を含むことを定項として、早晚成立するであろう欧州共同体市場において主導的役割を果し、支配権を確立すると共に、最近急ピツチに輸出を拡大し五六年には二億マルクに達した中東市場にアメリカ独占資本と連携しつゝ、割りこんでゆくであらう。

欧州共同体条約は、既に独、仏、伊で批准されており、その中心は各加盟国間の閉鎖的壁の漸次的撤廃、社会保障及び租税の統一化、資本及び労働力の自由移動に於いて、大衆消費、搾取を強化し、中小企業を圧殺し、国際的な独占スロツクを作つて市場問題を解決しようとするところにあるが、この帰趨は必然的に岳ドイツの勝利に終るべき独占資本の不均衡発展を激化し、イギリスを中心とするスターリン地帯との対立を深める結果になるであらう。

ドイツ独占資本の軍事計画は、資本の経済力の発展と均衡した精兵の建設であり、防空の重心を高射砲からロケット兵器に切替へたことに示されているように、核兵器も含めた能率的な近代装備化を進めることであり、特に当面アメリカからの核兵器引渡し、ナイキ基地建設、西独軍のNATOへの編入を早急に進めることである。これがNATO諸国へのアメリカの大っぴらな核兵器供与のきっかけとなることは云うまでもない。ドイツはスルジョアジーとそれを支持するアメリカ帝国主義の

はねかけ、その政府は反種民世、民族独立の旗を高く掲げ、勢力の手ににぎられたのである。

だがアメリカ帝国主義はこれが彼らの中東支配への重大な脅威であり、バクダッド条約体制を危殆に導くものとして、必死の妨害を開始し、英仏帝国主義もこれと共同している。イランのクレーターを組織したヘンターソンを、直ちにトルコに飛ばせ、トルコ、ヨルダン、イラクの政府首脳会談を阻ぎ、ヨルダンに軍事援助として武器を続々と持ち込み始め、更にヨルダンのバクダッド条約加盟を企てている。アメリカ帝国主義は英仏帝国主義と手をくんで、ヨルダン、レバノン、サウジアラビア等の政府をさそひこみ、これら諸国を利用して紛争を挑発し、シリア、エジプトの孤立化、転覆を公然と企てている。

われわれは、かつてムアタマラでアメリカが行った野蛮な侵略を知っている。シリアに対するアメリカの干渉を阻止し、封殺することを、われわれはいさ、かも重視してはならない。われわれは、このようなアメリカ、イギリス、フランスの陰謀を強く非難すると共に、斗うシリア、エジプト政府と、民族解放をめざすレバノン、ヨルダンの人民に心からの激励を送るものである。

中東において今一つの著しい特徴は、民族解放斗争が激しい帝国主義の武力弾圧に屈せず続けられていることである。オースマン人民の斗争は七月一日にイマムファスカット土候に對して繰返したことに始まり、石油利権の問題をはらみながらも基本的に民族独立斗争として展開された。

これに對し、イギリスはロケット砲を始めとした空軍、地上軍を動員して弾圧したのである。しかし人民の抵抗は屈せず今尚続いている。

イエーメンにおいてもあくなき空爆をイギリスは斗う人民の上に加えている。

政策は、明らかに西ドイツを危険な原子戦争の中心地に育て、世界スロレタリアートにとつて、新たな反革命憲兵を育てるものに他ならない。それは、東ドイツまでをNATOに組みこもうとする、彼らのドイツ統一の方針に輪郭に示される如く、NATOの下、対ソ包囲の中心点としてアメリカの原子戦基地の建設と高度の核兵器軍を建設する方向である。それは又、イギリス、フランス帝国主義を、或る場合には日本、アメリカ帝国主義とに、激しい中絶分断戦を挑む方向に他ならない。

6

アメリカ帝国主義の中東でのアイクドクトリンによる支配計画は、シリアにおいて重大な影響を及ぼした。アメリカはシリア人民とアラブ諸国の抵抗に對し、陰謀と謀略の戦いを今や真剣に狙い始めた。帝国主義者はシリアの至清借款要求に對して高利貸付の返答をし、至清借款要求を行つて孤立化させ、その手先を送り込んで政府を倒すことを企て、エジプトの孤立化を狙つていた。シリア政府はこれに對して、アメリカの陰謀を暴露すると共に、イスラエル、ヨルダン等の帝国主義者の手先としての行動に激しく抗議して、國民の警戒心を喚起し、エジプトとの連帯化を具體化し、エジプトとの連携を強めた。

このような中で、ソ連の反動的な援助申入れは決定的な役割を演じ、一億ドル余の高等技術援助の守衛定が結ばれた。シリア政府は同時にヨルダン、サウジアラビアとの關係改善に努め、挑発の口実を封じて、米大使館員三名を追放すると共に一五日陰謀に加わつていたといわれるニサメイン参謀長を辞任させ、軍政府内の帝国主義の手先を一掃したのである。かくてシリアは帝国主義の陰謀を粉砕し、アイクドクトリンを

7

極東においてもいくつかの国々において平和と民族の独立をめざす勢力の前進は続いている。

カンボジア國民議會は八月、中立政策を法として採択すると共に、国防費の削減を決定した。タイでは政府内の動搖が続き、人民斗争に有利な条件を生んでいる。八月三日マレーは種民地体制を離脱し、オニ次大戦后十番目の独立国としてマラヤ連邦が誕生した。

インドネシアでは、ジャワ地方選挙において、共產党は七百万票を獲得し、(前回の全国得票数を百万余上まわる)オニ党となった。

沖縄においても、沖縄の原水爆基地化に反対し、祖国復帰の旗をかゝる勢力は那覇市議會に十二名の代表を送ることに成功し、市長市長不信任の野望を粉砕した。立法院議會は又、八月二三日、沖縄の原水爆基地化に反対し、ナイキ基地建設に反対することを満場一致で決断した。

勿論事態は直線に進行するものではない。マレーにおいても独立の完成と政治的自由を要求する人民の斗争は続いており、九月二日から始まる那覇市議會で反動派の策動は十分警戒されねばならぬ。

特にインドでは、外貨不足、輸出不振による深刻な至清を共に直面しており、ネール内閣は新増税を断行し、資本輸入、外資導入をはかっている。近信關係者内者は、賃上げ要求をかゝはて立上り、政府の禁止令により中止させられたとはいへ、ゼネストを計画するにいたつた。五ヶ年計画の遂行につれて階級分化が進行し、階級斗争は激化しつゝある。何よりも指摘すべき点は、アメリカ帝国主義が七月一日からの太平洋軍司令部への統合により、PATOを實質的に成立させ、具体的な原子戦基地の建設と核動演習を始めしていることである。

一方英豪キヤンペラ會議に明らかになり、英國帝国主義の独自の核兵器戦略体制の整備も着々と進められ始めた。アメリカは岸との間に、日米合同軍事司令部ともいうべき巨

米安全保障委員会を発足させ、九海兵隊を沖縄に引揚げ、第一騎兵師団を韓国に、撤退させ、韓国駐在の第二四師団と合併して原子戦ヤントミック軍隊を形成した。

沖縄でも彼らは、今度の選挙は沖縄の人民に民主主義が与えられて、これを証明した。なほ、苦しむ併解をしながら、CIAを除く全行政官の入替を行う一方、土地裁判所を設立して強制収用の体制を固めている。ナイキミ基地建設は既に落札を終ったと伝えられており、彼らがICBMへの対抗に必死に基地拡張を進めること、民主勢力の弾圧を開始する準備に狂奔していることは明らかである。

われわれは、今、沖縄の原水爆基地化に反対する斗争の成行は、全極東の情勢と全世界の平和を守る斗争に、重大影響を及ぼすことを正確に理解する必要がある。

われわれは、全世界平和勢力の総力を上げて、沖縄の永久原水爆基地化を阻止するため、国連総会々期という有利な機会を送んで、全力を上げて、斗わねばならぬ。

以上の国際的な情勢とわれわれの任務の中で、特に九月七日から用いられる国連総会を考慮してわれわれの方針を一応明確にする必要がある。

帝国主義者はハンカリー問題を正面に押し出し、核実験禁止問題をさらすことに全力を上げるだろう。彼らは又、アルジェリア問題、オマン問題をこまかし、又中国の国連での正当な地位の回復とアメリカの不当な中国への内政干渉(台湾占領)を止めさせるため、斗わねばならぬ。

そして、何よりも核実験禁止と軍縮の問題を、軍縮小委員のすくすく小部会から国連総会にもち出し、全世界の平和擁護斗争の一層の高揚の中で、国連総会を核実験禁止のための世界平和勢力の大カンパニアの場とすべく、全力を傾注せねばならぬ。

更に極東の原子戦基地沖縄の問題が国連総会で取上げられるよう、斗わねばならぬ。このような方向を日本政府が国連で行う

資の進行に伴う、原料、材料輸入の増大は、日本独占の傾倒なフランスのとれた海外市場進出と資本蓄積に若干の不安を余儀なくさせた。更に一部産業(綿織、マンイ)等での市場争は、一方での資本投下の強行に伴う資金難、金融市場の逼迫と相まって、日本経済に複雑な影を投じている。

特に貿易収支のほう大な赤字の累積は、彼らに、過剰投資の抑制、金融引きしめのための幾つかの措置をとらせている。

彼らは投資のテンポをゆるめ、一応重点化し、可能なものは繰延べ、重点輸入のための諸措置と金利引上げを行って、全体の乱れを「調整」しようとした。

そして彼らは一応強方に東南アジア市場への進出を始めとした列強市場への割込みを狙っている。岸の東南アジア再訪と冊地基金計画の自主的な計画、中東石油への投資、中南米等への移動大使の派遣等に、一応精神的になってきた日本独占の対外進出方針をみることもできる。

そして、このために、彼等は当面の資本投下の隙間を埋めるものとして外資の借りに再び積極的な努力を開始した。

このようにして、日本独占資本は当面の外貨危機に代表される経済上の各種の不均衡を一応強力が対外進出の方向によって解決しようとしており、これは一方では中国市場を始めとした社会主義市場との貿易拡大の契機を造り出すと同時に、一応強力な日本帝国主義の復活の方向を準備するものである。

彼らはこの目標のために、アメリカ独占資本との提携、協力を一応新しい形で必要とするに至っている。

日米共同声明に代表され、日米安保委員会の成立は、このような日米独占資本の政治的軍事同盟の強化をめざし、アメリカの軍事戦略の一環として、極東における反ソ反共の拠点となり、更に東南アジア市場でのイギリス独占との斗争に備える日本独占資本の政治的方向を端的に示すものである。

日米安保委員会は安全保障条約を改訂するために新しく作られたものではない。それは技術司令部的な日米合同委員会に代って、PATOの一環として、日米の政治的軍事同盟の単

よう、われわれは強く政府に要求せねばならない。

われわれは勿論、核実験禁止協定締結が国連総会で決定されつることを望みしてはならない。しかし、おたかも核実験問題が解決不能の難問であり、すでに国際政治の中心から去ったの如く云う意見と斗わねばならぬ。

これらの斗争が社会主義諸国の平和政策と結合して斗われるならば、われわれは今台偉大な成果をかちとることができるであろう。われわれは又十月十四日からライプニヒで開かれる第四回世界労働大会が、平和と生活の向上を要求する国際労働運動の同結と前進の重要な社会となり、国際スロベニアの斗争の発展に重要な社会となることを期待すること共に、国連総会に向けての全世界的な平和を守り核実験禁止を要求する斗争の先頭に世界労働運動が立つたための方針を決定すること強くのぞむものである。

われわれはすでに中三回原水爆禁止世界大会で決定され、全労働十三中委でも具体化された。ある、東京宣言に基く十月から十一月にかけての国際統一行動、特に十一月一日の国際統一行動を、更に強力な大衆の抗議と要求の斗争として、われわれに全力を上げねばならぬ。更にわれわれは、国際的な行動を、つまでもなく、国連総会の開会日九月十七日に強力な大衆の示威ストレーションを展開する必要があると考える。

そして、特に、シリアへの干渉、英のマリリンカ実験、沖縄の基地化等の帝国主義者の戦争政策に、随時自衛的な強力な反動を組織せねばならぬ。平和を守るために、国際スロベニアの貪欲な競争政策を封殺するために必要なのは、統一された全世界的な強力な大衆行動である。

このような全体の国際情勢の発展の中で、われわれは特に日本独占資本と、その代行者、岸政府の動向に十分注意を払う必要がある。

本年初頭以来のいわゆる「積極政策」の中で、莫大な設備投

一司令部を構成した事を意味している。

日本独占資本は、若干の経済の調整期に当って、一応苛酷な労働者階級に対する攻取を開始していることをわれわれは忘れてはならない。

現在のいわゆる「外貨危機」は決してそのま、彼らに動揺と後退を約束するものではない。

反対に彼らはいわゆる「外貨危機」の宣伝によって、労働者階級と一般国民に対する攻取を合理化しようとしている。

彼らは「投資のくりのべ」という名目によって、重点投資を中心とした一連の合理化計画を強行しようとしている。彼らは「低コスト」維持の名の下に、資金ストツを押しつけ、首切りと労働強化を押し進めようとしている。

彼らは又、中小企業に対する金融引きしめを利用して、系列化を強行し、中小企業の倒産、独占資本への吸収を引き起こしている。

このようにして、彼らは日本経済の支配者として、その地位の強化と、莫大な資本蓄積を遂行しようとしているのである。

われわれは、現在の若干の調整過程の中で、彼らの中から、譲歩と後退の起ることを期待してはならぬ。彼らが事態を同様に、妥協することによって、問題を解決するのではなく、断乎に独占資本強化の方針の遂行によって、事態を突進しようとしているとき、彼らの攻取の危険な性格をいさ、かでも軽視することは重大な誤りであるといわねばならぬ。

このような中で成立した改憲内閣に対して、われわれは歴史的にもその本質を把握せねばならぬ。

吉田内閣の崩壊に続く鳩山—石橋—岸と進んできた政治的過程は、明かに日本独占資本の強固な政治的支配の確立をめざす斗争の過程であった。

われわれはこの過程の頂点としての表現を岸改憲内閣に見ることが出来る。

このようにして、彼らは日本経済の支配者として、その地位の強化と、莫大な資本蓄積を遂行しようとしているのである。

われわれは、現在の若干の調整過程の中で、彼らの中から、譲歩と後退の起ることを期待してはならぬ。彼らが事態を同様に、妥協することによって、問題を解決するのではなく、断乎に独占資本強化の方針の遂行によって、事態を突進しようとしているとき、彼らの攻取の危険な性格をいさ、かでも軽視することは重大な誤りであるといわねばならぬ。



に種々の側面での措置もなつて進められている。

特に彼らは、誘導兵器の扱育に伴つて、秘密保護法の制定を  
議院国会に提案すると表明するなど、更に公労法、公務員  
法、改訂、教科書法等一連の反動立法を準備している。

更に文教政策の面では、日教組に対する勤務評定の押しつけ  
定員削減などを強行しながら、教育養成機関の再検討を中教審  
で審議させる一方、道徳教育の復活を来年度から実施するとし  
ている。

われわれは、彼らの攻直が、労働者階級に対する攻直と同じ  
く、民主教育に対して、更に学生の斗争に対して、特に今右き  
びしく向けられてくることを見逃してはならない。

全学連に対して、特に自民党学生対策部を中心にした労働者  
動は、明大等を中心にしてさわめて露骨に開始されており、学  
生戦線の団結を守り、特に全学連の強化のために全力をあけて  
闘うことは特に重要であるといわねばならない。

彼らのこの策動は、わが党に対する卑劣な攻直ともなつてい  
る。いわゆるトラック部隊なる名前によるわが党に対するテッ  
チ上はと申傷に対して、われわれは心からの怒りを禁じえない。

われわれは現在の情勢の中で、とくにこのような、党と、民  
主勢力の中心たる全学連への弾圧に対し、敏捷な反直を組織す  
ることを再び確認したい。

又、岸政府の最近取っている一連の反人民的な物価値上げ、  
特に食糧会計の赤字に名を借りた、米価の値上げは、国民の生  
活を一層窮地に追い込むものであり、フコ、水道、私鉄と続く一  
連の値上げと共に、許すことのできない措置である。

以上の岸政府の動向に対して、日本人の斗争は、特に平和  
を守るため、かいて着しい前進を示した。

第三回原水爆禁止世界大会は日本の平和運動にとつても、画  
期的な前進を形造ることとなった。

この大会は、日本の原水爆禁止の運動が全世界の原子戦争争  
争

1. 米英帝国主義者を中心とする核実験禁止協定の即時締  
結を要求する努力に対し、その原案締結への同意を要求  
する断固たる行動を展開する。

特に国際連合でこの点を決試するよう、国際統一行動日を  
真に全世界人民の総決起の日とすべく全力を上げる。

具体的には九月十七日の国際連合開会日にあたり、学生を  
中心とした集會、デモンストレーションを積極的に行つて、  
更に、国際統一行動日を十一月一日に設定し、東大全学連  
が一斉デモ行進をもつてこの行動に参加するよう全力を上  
げる。

文京区内に於ても八月十六日に勝る強力な行動をもつて、  
十一月一日行動デーに立つよう準備する。

2. アメリカ帝国主義者の急ヒツチの日本原爆基地化に対し  
て、沖縄の新設土地接收、ナイキ基地建設に反対し、断乎た  
る行動を展開する。

特に、断乎たる斗争沖縄人民党を始め、那覇市評会の市長支  
持派を激発し、民主党を中心とした瀨長市政への妨害に強力  
な抗議を始める。

更にアメリカ帝国主義が実力をもつて土地接收、基地拡張  
を遂行する場合には、われわれも又、アメリカ大使館前への  
無期限座りこみを始めとして、すべての刃を上げて、抗議の  
行動を展開する。

3. シリアに対するアメリカ帝国主義の挑発に嚴重な注意を  
拂い、特にすでに開始されている周辺諸国への武器持ち込み  
に強く抗議する。

もし、彼らが一層危険な火遊びに手をつけてくるならば、  
われわれは断乎たる大衆行動によつて、アメリカ帝国主義の  
攻直を日本において完全に失墜せしめるであらう。

4. 岸政府によつて加えられている日本労働者階級に対する

隔に反対する斗争の重要な一環となり、國際的な連帯を明確に  
する上でかつてない社会となった。

日本の平和運動の前進は、明らかには、全世界の平和運動の、  
スエズ、ハンガリー以降の混乱を收拾し、画期的な前進を作り  
出す上で決定的な契機となると同時に、全世界の平和運動の前  
進は日本が平和運動を、止まずものであつた。

更に大会に参加した代表連によつて、大会直前に大会の報  
告に基く、秋の行動の準備が、本気だてをまきこむ準備され  
ている。

文京区では大会終了のその日千名の労働者、学生が激しいデ  
モンストレーションを敢行することによつて、大衆的攻撃の  
先頭をきつた。

向よりも特筆すべき点は大会に参加した労働者連のインシア  
ティブによつて、労働者階級が平和を守る斗争の中心勢力とな  
る条件が次第に作り出されてきていることである。

全世界平和運動の共通の課題として、基地に反対する斗争が  
確認されたことは、砂川斗争を一層新しい段階に移し、特に九  
月十二日で期限切れとなる昨年度未測露分の強制撤去についで  
は未だに到致することに成功した。

明らかな第三回世界大会は日本の平和運動のみならず、日本  
の民主主義運動全体に著しい影響を及ぼしているし、今右その  
方向の實踐は、日本人の斗争の未来に新しい時代を開くこと  
となるだろう。

そして、前述した、岸政府の弾圧に対する労働者階級の生活  
と権利を守る闘いが平和を守る闘いと結びついて進められるん  
らば、われわれが一層巨大な前進を勝ちとるに違いないことは  
明らかである。

以上展開した國際、国内情勢の中でのわれわれの任務を、わ  
れわれは次の行動によつて実践する。

弾圧に強く抗議し、可能なかぎりの大衆行動によつて労働者  
を支援するために全力をつくす。

特に、労働者の斗争を学生大衆が支援するよう努力するは  
かりでなく、積極的に関与する組織化に取組み、更に広  
汎な人民に労働運動に対する弾圧の本質を暴露するデモンフを  
発行し、岸政府に対する、全人民的な反直を組織する中一歩  
とする。

以上の具體的な任務、特に十一月一日の国際統一行動デー  
は、東大においては全学ストをもつて闘うために、直ちに学  
生大衆の中に入って、積極的な宣伝、組織活動を始めること共  
に、教授、職員も含んだ真に全学の斗争とするために努力す  
る。

もしこのわれわれの行動に対し、去る五月十七日の斗争の  
如く、学校当局が積極的な協力を拒否するばかりか、妨害と  
弾圧にのみ終始するとしたら、われわれも又その益害を定し  
て、学校当局に断固たる抗議を集中するであらう。

特にわれわれは東大自治会中央委員会を学校当局が承  
認するよう要求し、その実現のため全力を上げるであらう。

スローガン

- 一、米英は核実験禁止協定即時無条件締結に同意せよ!
- 一、岸政府は国連に無条件実験中止協定を提案せよ!
- 一、アメリカはシリアへの挑発をやめよ!
- 一、アメリカは中東から手をひけ!
- 一、沖縄の原水爆基地拡張反対!
- 一、ナイキ基地建設をすくやめよ!
- 一、官公労を始めとした労働者階級への弾圧反対!
- 一、全世界プロレタリアートの団結を!
- 一、世界平和運動の前進を!
- 一、平和と兵産主義の勝利をめざして前進せよ!

〈正誤表〉

マルクス・レーニン主義 七号訂正

二八頁 三段目

誤

沖縄の祖国復起などの民族斗争

正

↓沖縄の祖国復起など

の斗争

平和運動に従属するものとして

て

↓平和運動の一環として